

# つながる医療

循環器内科 臨床副院長

寺沢 彰浩 医師

1985年 名古屋大学卒業

●所属学会・資格 / 日本循環器学会循環器専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、ICLSインストラクター

日本心臓病学会、日本超音波医学会、日本不整脈心電学会 医学博士

●主な専門領域 / 虚血性心疾患、心不全の診療、心エコー、循環器救急

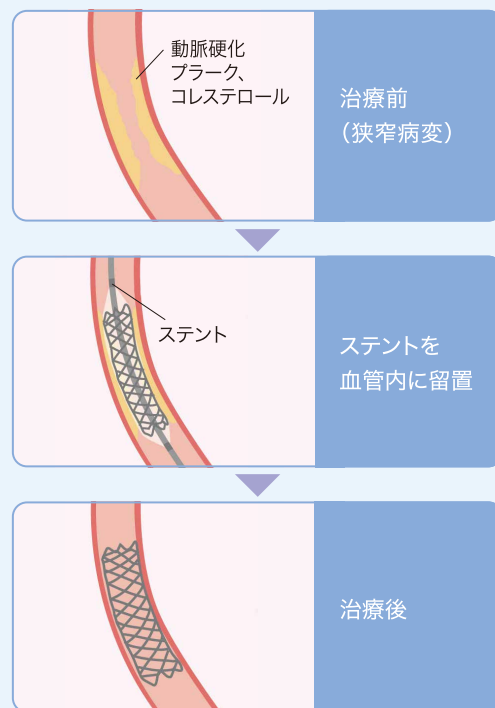
## 循環器内科

常勤医師8人体制で、  
PCIの初期成功率と長期予後改善を  
めざした治療を心がけています。

大雄会の循環器内科では、あらゆる循環器疾患に対応するよう努めており、常勤医師8名で診療を行っています。

特に、虚血性心疾患における経皮的冠動脈形成術（PCI）の施行において、その治療の概要、循環器内科のみならず他科と連携したチームでの対応、また地域の診療所の先生方とのスムーズな連携の重要性などについて、循環器内科臨床副院長の寺沢彰浩医師に伺いました。

【図1】経皮的冠動脈形成術（PCI）（ステント留置）



PCI後の内科的管理(抗血小板剤によるステント血栓症予防、冠危険因子の管理をはじめとした心血管イベントの二次予防)は、PCIの長期成績向上に重要です。ステント留置後は、血管内にステントといった異物が留置されるため、ステントに血栓が生じる(ステント血栓症)可能性があります。その頻度は稀です。しかし、ステント血栓症は、発症するとステント部で冠動脈が完全閉塞となることが多く、急性心筋梗塞となり、死亡に至る危険があります。このため抗血小板剤2種類(アスピリンとP2Y

詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

**tel. 0586-26-2366** (直通) **fax. 0586-24-9999**

tel. 0586-72-1211 (代表) ●受付時間:月～金 8:30～19:00 土 8:30～12:30 ※祝日、年末年始、4月3日除く